



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月5日

上場会社名 株式会社アートネイチャー 上場取引所 東
 コード番号 7823 URL <https://www.artnature.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 五十嵐 祥剛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 井上 裕章 TEL 03-3379-3334
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,049	5.8	2,309	1.9	2,368	1.8	1,449	1.9
2019年3月期第3四半期	27,469	1.2	2,266	22.0	2,325	17.0	1,421	67.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,497百万円 (12.9%) 2019年3月期第3四半期 1,326百万円 (75.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	44.51	44.20
2019年3月期第3四半期	43.64	43.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	42,487	25,413	59.4	775.53
2019年3月期	42,971	24,767	57.4	757.39

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 25,254百万円 2019年3月期 24,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2020年3月期	—	14.00	—		
2020年3月期（予想）				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,368	3.6	3,377	4.7	3,425	3.5	2,031	9.0	62.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	34,393,200株	2019年3月期	34,393,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,829,339株	2019年3月期	1,839,739株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	32,558,204株	2019年3月期3Q	32,581,097株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在まで入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調の動きが見られる一方、消費増税の影響等により国内の消費動向に力強さが見られないことに加え、米中の貿易摩擦による世界経済の減退が懸念されるなど依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社では、本年度が最終年度となる中期3か年計画「アートネイチャーREBORNプラン」の完遂に向け、「お客様満足」、「体制革新」、「人材育成」、「従業員満足」の「4つの実現」を「4つの確立」に更に進化させ、営業基盤の拡大、生産性向上などの各種諸施策を実行しております。

その結果、当連結累計期間の売上高は、新商品の売上が好調に推移したことに加え、女性向け既製品ウィッグを販売する企業を子会社化したため、29,049百万円(前年同四半期比5.8%増)となりました。一方利益面では、売上高は増加したものの、新領域の事業に踏み出すために、積極的に経営資源を投下したため、営業利益は2,309百万円(同1.9%増)、経常利益は2,368百万円(同1.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,449百万円(同1.9%増)にとどまりました。

セグメント別の売上高の状況は次のとおりです。

<男性向け売上高>

男性向け売上高については、効果的な広告宣伝の展開、あらゆる年代層の顧客定着施策の推進、販売スタッフの連携強化による新規顧客の定着率向上などの諸施策を実施した結果、新商品の売上好調が奏功し、新規・リピート売上ともに増加し16,449百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

<女性向け売上高>

女性向け売上高については、効果的な広告宣伝の展開、展示試着会の効率的かつ効果的な開催の継続、長期的かつ継続的にお客様とのつながりを持てる体制づくり等の諸施策を実施した結果、新商品の売上好調が奏功し、新規・リピート売上ともに増加し8,825百万円(同6.0%増)となりました。

<女性向け既製品売上高>

女性向け既製品ウィッグの売上高については、ジュリア・オージェ部門において、新店舗の出店、店舗毎のきめ細かなプロモーション、店舗毎の課題に迅速に対応する新たな店舗運営体制「ユニット制度」を導入するなど、店舗販売力強化に向けた諸施策を実施したことに加え、女性向け既製品ウィッグを販売する企業を子会社化した結果、2,758百万円(同23.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比483百万円減少し、42,487百万円となりました。これは、商品及び製品が増加した一方、現金及び預金が減少したこと等により流動資産が1,118百万円減少し、のれんの増加で無形固定資産が増加したこと等により、固定資産が634百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1,129百万円減少し、17,073百万円となりました。これは、前受金が増加したものの、未払金、未払法人税等が減少したことにより流動負債が1,323百万円減少した一方、固定負債が退職給付に係る負債の増加等により194百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比645百万円増加し、25,413百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,275	16,641
売掛金	3,109	2,998
有価証券	42	31
商品及び製品	1,430	2,098
仕掛品	129	114
原材料及び貯蔵品	1,324	1,346
その他	902	863
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	25,206	24,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,285	5,245
その他(純額)	3,996	4,091
有形固定資産合計	9,282	9,336
無形固定資産		
のれん	4	864
その他	739	654
無形固定資産合計	744	1,518
投資その他の資産		
その他	7,793	7,599
貸倒引当金	△56	△55
投資その他の資産合計	7,737	7,543
固定資産合計	17,764	18,399
資産合計	42,971	42,487

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	210	382
1年内返済予定の長期借入金	398	98
未払金	2,368	1,499
未払法人税等	1,198	69
前受金	4,770	5,757
賞与引当金	878	463
役員賞与引当金	132	112
商品保証引当金	35	36
ポイント引当金	93	103
その他	1,126	1,367
流動負債合計	11,213	9,890
固定負債		
退職給付に係る負債	3,714	3,837
資産除去債務	1,400	1,439
その他	1,874	1,906
固定負債合計	6,989	7,183
負債合計	18,203	17,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,667	3,667
資本剰余金	3,557	3,558
利益剰余金	18,510	19,054
自己株式	△960	△954
株主資本合計	24,775	25,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	36
為替換算調整勘定	△3	△20
退職給付に係る調整累計額	△117	△87
その他の包括利益累計額合計	△119	△71
新株予約権	99	145
非支配株主持分	12	13
純資産合計	24,767	25,413
負債純資産合計	42,971	42,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	27,469	29,049
売上原価	8,659	9,150
売上総利益	18,809	19,899
販売費及び一般管理費	16,543	17,590
営業利益	2,266	2,309
営業外収益		
受取利息	59	53
為替差益	15	3
その他	34	40
営業外収益合計	110	97
営業外費用		
支払利息	3	1
支払保証料	34	28
その他	13	8
営業外費用合計	51	38
経常利益	2,325	2,368
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	17	11
特別損失合計	17	11
税金等調整前四半期純利益	2,308	2,357
法人税、住民税及び事業税	751	717
法人税等調整額	134	190
法人税等合計	886	907
四半期純利益	1,421	1,449
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,421	1,449

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,421	1,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	35
為替換算調整勘定	△87	△17
退職給付に係る調整額	30	30
その他の包括利益合計	△95	47
四半期包括利益	1,326	1,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,326	1,497
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。